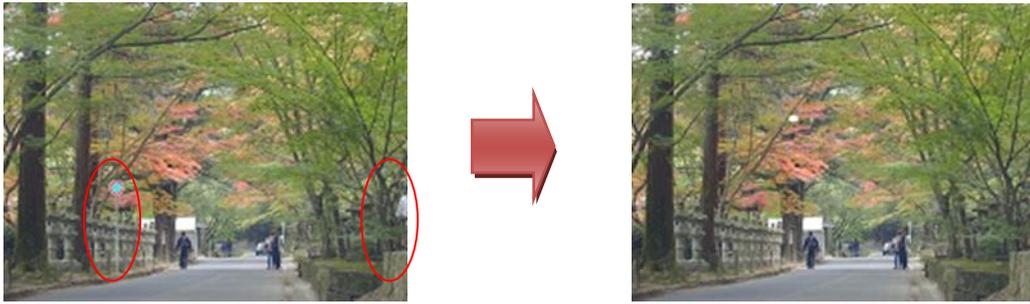


邪魔もの消し「スタンプ」の仕組み



「消す」と云う表現を使っていますがこれは作業の結果状態を表しているもので、作業自体は「写真を重ねて、上の写真をこすることでその部分の画像を、下写真に写しこむ(スタンプ)」と云う考え方のものです。ですから、ツール名称もスタンプになっています。目には見えないのですが、下図のような状態で上の写真(薄く写って見えるほうが上側にある写真)をこすることで下の写真にスタンプされます。



説明のためにずらして重ねていますが、例えばこの位置でマウスを動かさず(こする)と、標識が下画像に写しこまれ(スタンプ)されます。

- ①スタンプツール選択後、写真の上で Ctrl+クリックした時に、クリック位置を中心とする写真のコピーが作成され、上に配置される(目に見えない)

標識の陰になっている枝ぶりに似た枝を重ねれば自然に見えるので、それに近い枝の位置でクリック

- ②次にクリックした時に、上写真の重なり位置が固定され、且つ、ブラシサイズの画像範囲がスタンプされる。
- ③マウスを動かすことで、ブラシサイズの幅で続けて下写真にスタンプされる

「+」部分の画像が「O」部分にスタンプされる

そのままマウスを動かすと「+」も動き、その分が「O」部分にスタンプされる

この画像の場合は「斜め枝」と云う微妙な形なので、枝の角度に合わ



せて少し動かす程度に留めておく

④マウスを離すと上写真の配置が解除される

⑤クリックするとクリック位置で再度写真重なり位置が固定される

注目1：最初のクリックから手を離さずドラッグを続ければ、写真全部をスタンプすることも可能です。ただし、重なりズレの部分は画像がないのでスタンプ出来ず、元のままで残ります。

注目2：小刻みにクリックすると「同じ位置の画像がスタンプ」されるので、魚のうろこのようなスタンプ状態になります。通常は不自然な画像になり好ましくない。

（この画像の場合、標識柱に隠れている灯籠と同じ大きさの灯籠の頭部分で Ctrl + クリックし、隠れている灯籠の頭部分から一気に真下にドラップすると綺麗にスタンプ出来る）

注目3：マウスを動かし過ぎると「スタンプしたくない部分がスタンプされる」ので注意が必要。スタンプされる位置を表す「+」マークの位置を良く確認すること。前頁の画像で云えば、左に動かし過ぎると、ポールを消そうとしているのに逆にポールが入り込んでしまいます。

注目4：マウスの動かし方も考えながら行う。木の枝が左下がりにならば左下方法に、ポールは直立ですから真下方向に、のように動かすと綺麗にスタンプ出来る。

注目5：ブラシサイズは消したい部分の大きさと、スタンプ出来る部分の範囲（大きさ）を考慮して大き目の範囲で決める。

注目6：講習では中央の人物も邪魔と全部消しこむ人がいますが、人物に隠れている部分に適した画像があればそれは良いのですが、適した画像がない箇所までは触らないほうが良い。